歌舞伎町アートサイト The Challenge of Public Media Art
パブリックメディアアートの挑戦

【 開催趣旨 】
新宿歌舞伎町の公共空間を使い、「テクノロジーとアートを通して再認識される都市」をテーマとしたパブリックメディアアート展をおこないます。
現代においてインターネットの役割が拡大している状況と相反して、都市や地域の固有性および独自性が再評価されつつあります。また、地理情報システムの発達によってGoogle Maps、Foursquare などのサービスが提供され、人々が新たな視点から地域と関わる可能性が生まれ、私たちと都市との関係も大きく変化してきています。さらに、「公共と個人」の問題を考えたとき、物理的な公共／個人とネットワーク上の公共／個人の関係性が大きな議論となっています。
この状況を出発点として、気鋭のメディアアーティストが新宿という大都市を独自の視点から解釈し、表現します。
ここでいうパブリックメディアアートとは、「コンピュータを中心としたメディアテクノロジーを主要な表現手段とし、公共空間をコミュニケーション空間、社会空間とみなし介入していく姿勢を持ったアート」の形態です。さらに、共催企画としてスクール・リサーチ・プロジェクトと題したプロジェクトをおこないます。そこではメディアアート、環境情報学、建築などの多彩な分野の教育機関が参加し、より領域横断的に都市＋アート＋テクノロジーの問題を論じます。

【みどころ 】
日本初の都市型パブリックメディアアート展です。
新宿歌舞伎町の中心地に、アートコンテナが出現します。
アーティストが新宿をテーマ／素材とした体験型・参加型作品を発表します。
「テクノロジーとアートを通して再認識される新宿」がテーマです。

様々な専門分野における教育機関が新宿をリサーチ／分析し、現状及び将来の新宿の姿を再考します。

【 基本情報 】
タイトル 歌舞伎町アートサイト （ 副題：パブリックメディアアートの挑戦 ）
共催企画 スクール・リサーチ・プロジェクト
開催期間／時間 2011 年11 月19 日 12 月3 日（15 日間） 12:00~19:00
＊日時は変更の可能性あり。最新情報は公式サイトでご確認ください。
出品者／団体 【アーティスト】 浅野 耕平／安藤 英由樹＋渡邊 淳司＋田畑 哲稔+Maria Adriana Verdaasdonk ／筧 康明／ギル 久野／クワクボ リョウタ／笹口 数／野口 靖＋安藤 英由樹／前林 明次
＊変更の可能性あり。最新情報は公式サイトでご確認ください。
【教育機関】 慶應義塾大学SFC 筧研究室／多摩美術大学 情報芸術コース メディアアート・ラボ
東京工芸大学 工学部 建築学科 鍛研究室／東京工芸大学 インタラクティブメディア学科 野口研究室
会場 【第1 会場】 シネシティ広場（旧コマ劇場前） 東京都新宿区歌舞伎町1-19
【第2 会場】 新宿区立大久保公園 東京都新宿区歌舞伎町2-43
交通 【シネシティ広場】 東京都交通局 都営大江戸線（環状部） 東新宿 A2 口
東京地下鉄（メトロ） 東京メトロ副都心線 東新宿 B
東京地下鉄（メトロ） 東京メトロ副都心線 新宿三丁目 E1 口

【大久保公園】 西武新宿線西武新宿駅から徒歩3 分。JR 新宿駅から徒歩8 分。
入場料 無料
主催 東京工芸大学
企画運営 東京工芸大学芸術学部インタラクティブメディア学科
ディレクション 野口靖
後援 歌舞伎町タウン・マネージメント
協力（予定）
歌舞伎町商店街振興組合／慶応義塾大学／新宿区角筈特別出張所／新宿歴史博物館／多摩美術大学
西新宿をよくする会／丸紅情報システムズ株式会社
【 関連イベント 】
関連イベントは公式サイトに随時掲示致します。
【 事務局・広報窓口 】
東京工芸大学インタラクティブメディア学科野口研究室
〒243-0297 神奈川県厚木市飯山1583 tel. fax. 046-242-9635 info@kabukicho-art.org
【 公式ウェブサイト 】
http://kabukicho-art.org/
【 プレスリリースおよび広報用画像のダウンロードサイト】
http://kabukicho-art.org/press
以上のサイトの「PRESS』メニューから、プレスリリースのPDF
ファイルをダウンロードすることができます。また、広報用画像もこちらからご自由にダウンロードできます。ページを表示するにはパスワードが必要ですので、ご希望の方は以下のメールアドレスまでご連絡ください。
info@kabukicho-art.org

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com